

10人以上全事業所PCR検査

広島県は6日、広島市と福山市の全事業所（従業員10人以上）で働く人56万人を対象に、PCR集中検査を実施することを明らかにしました。

広島県が実施

広島・福山2市56万人対象

両市とも、事業所から予約にもとづきPCR検査キットを送付。各事業所で午前中に検体を採取した後、午後に検体を回収し、検査結果は翌日か翌々日に陽性者へ連絡します。

広島市では10～28日の間に40万人（約1万200社）、福山市では19～28日の間で16万人（約5000社）が対象です。

占めています。特に事業所に勤務する20～50歳代の従業員の感染が多いといいます。

職場

では出張などの県外往来や外食による感染リスクが高いため、潜在的な感染者を早期に発見・保護し、感染拡大の芽を早期に摘むことがねらいです。

湯崎英彦知事は6日の記者会見で「職場で広く

県全体の直近の1週間検査を行うことは飲食店や県外、家庭の感染捕捉にもむすび付き、大きな効果が期待できる」と強調しました。